

# あいのり

## Monthly

2026.1.30

### 1月のマーケット概要

1月は月初から地政学の動きに注目が集まりました。米軍がベネズエラへ侵攻し、マドゥロ大統領夫妻を拘束、米本土への輸送を行いました。また、以前から領有権保有を主張していたグリーンランドについて、トランプ大統領が反対する欧州8カ国に対して追加関税を示唆しました。その後NATOとの協議を行うことで決着となりましたが、いずれも根底には地政学リスクと資源争奪戦を想起させることから、金及び銀などの貴金属へ投機的な資金が集まりました。

下旬に開催された米FOMCでは、予想通り政策金利の利下げは見送られました。景気判断と労働市場の評価を引き上げ、当面の利下げを様子見のスタンスとしています。これにより、米国10年債金利はやや上昇傾向にあります。

月末に、トランプ大統領が次期FRB議長に、元FRB理事のケビン・ウォーシュ氏を指名しましたが、それまで地政学リスクなどを背景として月初から約30%上昇するなどの動きを見せていたゴールドを始めとする貴金属が、1日で10%以上急落するなどの動きとなりました。ケビン・ウォーシュ氏は歴史的に「タカ派（金利を引き上げ、物価安定を優先）」で、FRBによるバランスシート拡大に批判的であった過去から、就任後の市場が引き締め気味で流動性が減少するのではとの思惑が下落の契機となりました。

日本では、中旬に高市首相が衆議院解散に踏み切ると報道され、それ以降、選挙に対する好感から日経平均株価を始め日本株が大きく上昇しました。勝敗ラインは与党の過半数を超えられるかで、現高市政権が長期政権になれるかが今後日本の経済及びマーケットの行方を大きく左右する重要な選挙になります。結果次第でマーケットは大きく動くものと思われま

す。日銀金融政策決定会合では、政策金利は据え置きとなり、経済・物価見通し（展望レポート）において物価と成長率見通しがやや上方修正されました。注目の円安と長期金利上昇については、注視するというメッセージにとどまっています。

また日銀金融政策発表後の米国市場においては、NY連銀によるレートチェック（為替介入準備段階）があり、日米協調を思わせる動きであったことから米ドル/円が約2%円高に反応し、ドル円の160円が、今まで以上に上値抵抗帯として意識されるようになってい

ます。弊社ファンドは、引き続き慎重スタンスを継続していますが、下旬にかけて短期的なポジションを解消し、キャッシュ比率を高めまし

た。また、円高転換リスクの可能性から一部為替ヘッジを行いました。1月末の貴金属の動きはその他の投資マネーの縮小への波及を促す可能性があり、2月以降のレバレッジ取引解消に向けた動きには注視していき

たいと思います。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。  
パリミキアセットマネジメント【公式】  
@PM\_Asset

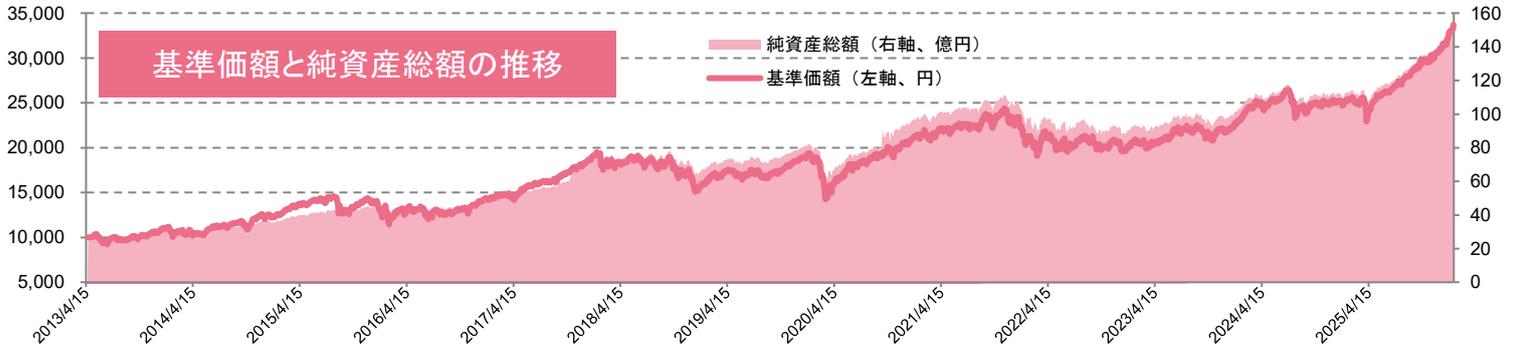
(2026年2月4日)

パリミキアセットマネジメント  
ファンドマネージャー  
宇野 隆一郎



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コードモファンド  
変幻自在ずーっとおまかせ



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
7.14%	13.54%	24.00%	7.14%	32.82%	63.21%	59.22%	157.90%	237.26%
					(複利年率) (17.74%)	(複利年率) (9.74%)	(複利年率) (9.93%)	(複利年率) (9.96%)

コードモファンド概況

基準価額	33,726円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	15,887百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	8.60%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.61% 現金等: 0.39% (合計: 100.00%)		

コードモファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年1.10%(税抜1.00%) マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5% 程度(税込)
---------------	---

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド ※2025年9月1日設定

【1月の運用コメント】

マザーファンドの基準価額は月間で+7.24%となりました。

(1年リターン: 32.82%、ボラティリティ(1年): 8.60%、シャープレシオ: 3.73) ※コードモファンド

個別ファンドの騰落率については、上昇の寄与度が大きかったピクテゴールド(為替ヘッジ付)が騰落率+24.15%、金鉱株式ファンドのコンウェーブ・ゴールドが同+21.74%、東欧株式ファンドのトリゴン・ニュー・ヨーロoppaが同+8.84%、日本バリュー株式のモーラントが同+6.04%などでした。一方、下落したのはインド株式ファンドのチカラインディアンが騰落率▲11.51%、欧州株式のコムジストEUが同▲2.02%などでした。

1月の売買は、引き続き慎重スタンスから、主にETFを中心に約5%程度の売却を行いました。キャッシュ比率は前月より約6%増加し17.90%でした。

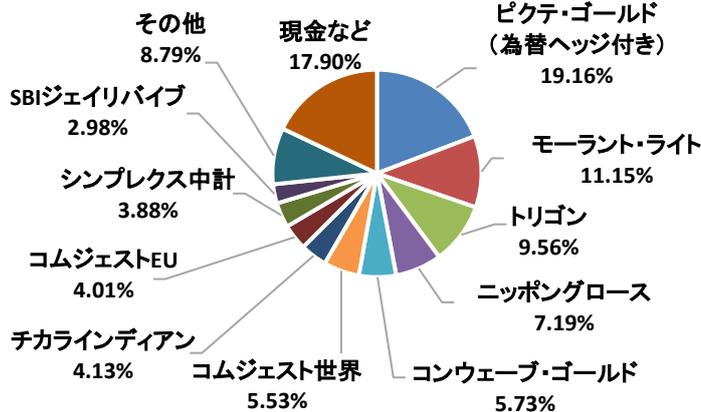
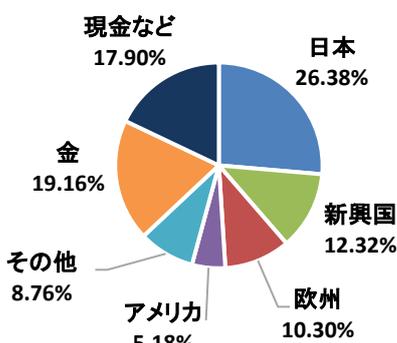
為替が円高へ、対ドルで約3円(▲1.85%)、対ユーロでは約1円(▲0.53%)円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.15%引き下げたこととなります。

現状の外貨資産リスク(33%)に対する為替ヘッジ率は、43%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは19%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	16,144百万円	組入ファンド数	全17本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率(左:国別、右:ファンド別)



組み入れファンドTOP5  
基準価額の新月比

ピクテ・ゴールド (為替ヘッジ付き)	24.15%
モーラント・ライト	6.04%
トリゴン	8.84%
ニッポングロース	4.49%
コンウェーブ・ゴールド	21.74%

# 浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

## 【1月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.52%上昇しました。

(1年リターン：20.89%、ボラティリティ（1年）：11.16%、シャープレシオ：1.81)

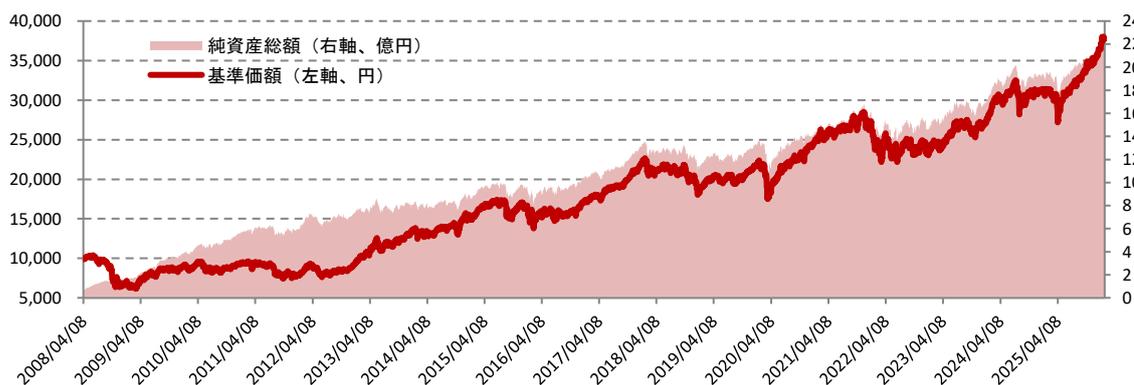
個別ファンドの騰落率について、上昇寄与が高かったのは金鉱株式ファンドのコンウェーブ・ゴールドが騰落率で+21.74%、東欧株式ファンドのトリゴン・ニュー・ヨーロッパが同+8.84%、日本株式ファンドのシンプレクス中計ファンドが同+3.36%などでした。下落した銘柄はインド株式ファンドのチカラインディアンが騰落率▲11.51%などでした。

1月の売買は、引き続き再度慎重スタンスから月末にかけて世界株式ファンドやETFなどを中心に一部売却しました。キャッシュ比率は前月より約6%増加し12.09%でした。

為替が円高へ、対ドルで約3円（▲1.85%）、対ユーロでは約1円（▲0.53%）円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.24%引き下げたこととなります。

現状の外貨資産リスク（52%）に対する為替ヘッジ率は45%で、ヘッジ後の外貨リスクは29%です。

## 基準価額と純資産総額の推移



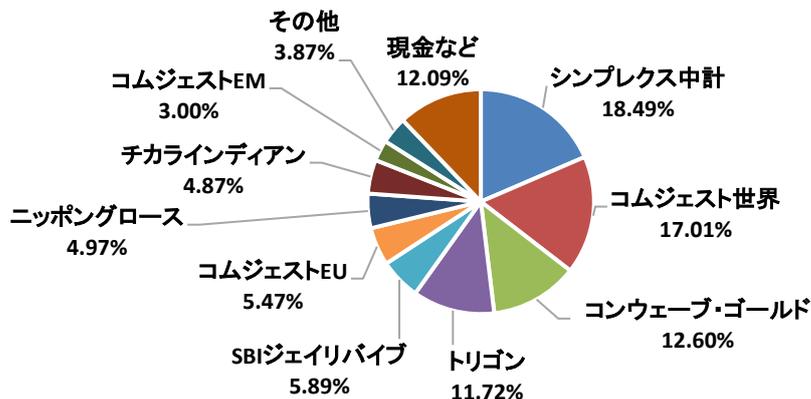
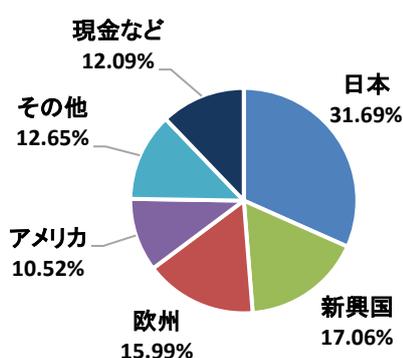
## 組み入れファンドTOP5 基準価額の 前月比

シンプレクス中計	3.36%
コムジェスト世界	-0.78%
コンウェーブ・ゴールド	21.74%
トリゴン	8.84%
SBI ジェイリバイブ	-0.14%

## 浪花おふくろファンド概況

基準価額	37,799円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,266百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	11.16%	決算日	毎年3月3日 (休業日の場合は翌営業日)

## 資産構成比率(組入ファンド全12本)(左:国別、右:ファンド別)



## 期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.52%	9.22%	16.90%	3.52%	20.89%	54.40%	50.71%	144.24%	277.99%
					(複利年率) (15.58%)	(複利年率) (8.54%)	(複利年率) (9.33%)	(複利年率) (7.75%)

## 浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用  
(信託報酬)

年0.99%(税抜0.90%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5%程度(税込)

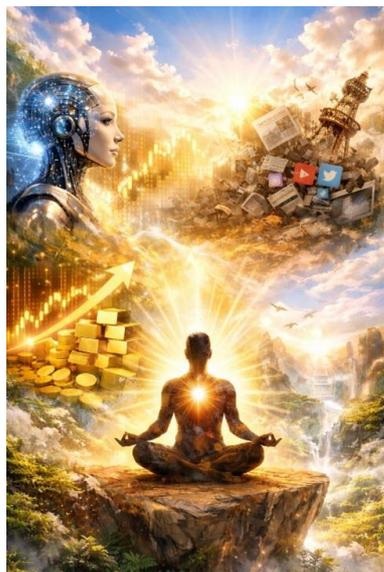
## コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

## 60年ぶりのパワーシフト



### 「経済パワーの時代」の次に来るもの

本稿は1月にお届けしたコラム（丙午が示す、新しい時代の始まり）の続編です。干支によると、歴史が約60年ごとに社会を動かす「パワー」がシフトしてきたことが見えてきました。1906年からの軍事パワー（剣・物質）の時代から、1966年には経済パワー（お金・情報）の時代へ、そして今年2026年からは精神パワー（魂・神）を中心とした新たな60年に入ったという仮説です。この視点で世の中を眺めると、最近の変化は単なる偶然ではなく、大きな転換の兆しであることが見えてきます。

経済パワーの時代は、「お金」と「情報」にパワーが集中した時代でした。ですから、金融とメディアを押さえた者が世界の価値観を形づくり、世界をコントロールできたのです。

その構造を、最も巧みに活用した存在のひとつがユダヤ資本でした。金融とメディアの両輪を通じて、彼らは長年にわたり世界で大きな影響力を持ち続けてきました。我々にとっても金融業界やテレビ局、出版社への就職は「成功の象徴」でしたし、女子アナウンサーは社会的ステータスの象徴として、多くの人の憧れでもありました。

しかし近年、その構図は明らかに揺らいでいます。テレビ局の内部問題や偏向報道への批判が表面化し、マスメディアの影響力は目に見えて弱まっています。SNSが支持を集める一方で、既存メディアへの信頼は崩れつつあります。今回の衆院選は、SNSの影響力が圧倒的にマスメディアを上回った歴史的な選挙だったと思います。

### 金高騰が語る「経済パワーの時代」の終焉

もうひとつ見逃せないのが、2月に一時的な急落はありましたが、近年高騰している金価格です。コロナ禍の財政出動や、ウクライナ戦争後の制裁を背景に上昇してきたとはいえ、直近の動きは異常とも言える水準です。これは単なる資産価格の変動ではなく、ドル基軸体制、ひいては通貨そのものへの信認低下と見るべきでしょう。通貨は「経済パワー」時代の象徴です。その価値が揺らいでいるという事実は、「お金」の時代が次の段階へ移行しつつあることを示しています。

同時に、軍事パワーや経済パワーを前面に押し出す政治手法も、以前ほど支持を集めなくなっています。アメリカ、中国、ロシアといった大国は、圧倒的な力を持ちながらも、世界からのパワーを集中できていない状況にあります。軍事や経済だけでは、世界は動かない時代に入ったのです。

### AI時代が導いてくれるもの

この転換期を象徴する存在がAIです。AIは「仕事を奪う脅威」として語られがちですが、見方を変えれば、人間から無意味な作業を切り離し、人間にしかできない本質的な領域を浮かび上がらせる存在でもあります。AIは私たちに、「人間とは何か」「何のために生まれて来たのか」という問いを、容赦なく突き付けています。

精神パワーの時代にふさわしい話を聞きました。——神棚の中央に置かれているのは「鏡」です。鏡に映るのは自分自身です。「かがみ」から「我（が）」を取ると「神」になります。自己中心的な「我」を手放した時、人はより大きな魂に近づくのかもしれない。

これからの60年は、力で支配する時代ではありません。魂の質が問われる時代です。

私たちは今、その歴史的な入り口に立っています。



(株)パリミキホールディングス  
代表取締役会長  
多根 幹雄



## チームあいのり

### 1990年代の米国駐在中に出会ったスター・トレックとAIの未来

私が『スター・トレック』を視聴し始めたのは、1990年代初頭、ニューヨークに駐在する20代後半の頃です。当時のマンハッタンは治安が悪く、夜間の移動はイエローキャブが推奨されるほどでした。現地のレンタルビデオ店の独特な手続きに馴染めなかったこともあり、私はマンハッタンの社宅でテレビを観る時間が多くなりました。



日本の番組が限られている環境で、好んで視聴したのがNFLや米国のドラマシリーズです。字幕がなく英語が聞き取れない番組も多い中、偶然出会ったのが『スター・トレック』です。「宇宙、それは最後のフロンティア……」という有名なナレーションで始まるこの作品は、比較的聞き取りやすい英語であり、私の英語力向上にもつながりました。

この作品に惹かれたのは、単なるSFエンターテインメントの枠を超え、未知の事象に対してクルーたちが仮説を立て、検証し、意思決定を下すプロセスが丁寧に描かれていたからです。帰国後も視聴を続けるうちに、本作が制作段階から科学者が関与し、未来技術を「予言」ではなく「条件付きの可能性」として描く、極めて科学的な作品であることを知りました。前提条件と因果関係の一貫性を重視するその姿勢は、現実のビジネスや意思決定にも通じるものです。



こうした思考様式は、現代のAI技術进行评估する際の基礎にもなっています。例えば、元OpenAI研究者Daniel Kokotajlo氏を中心に、AI技術・政策・安全性の専門家などが共同で米中開発競争の果てにAIが暴走する可能性を描いた未来予測「AI2027レポート」のようなシナリオも、特定の未来を断定するものではありません。計算能力やデータ量、社会制度といった前提条件に基づいた「思考実験」であり、前提が変われば結論も大きく変わります。

不確実な未来において重要なのは、的中させることより、条件の変化に応じて評価を見直すことです。AIは万能ではありません。技術的制約や人間の運用能力によって、その価値は大きく左右されます。期待だけで語るよりも、満たされている条件を一つずつ検証していくこと。それが、かつて『スター・トレック』のエンタープライズ号のクルーたちが示してくれた、未来と向き合うための誠実な作法なのだと考えています。



シニアストラテジスト  
西山 昇

## 〈パリミキフェア2026 in 川越〉

メガネのパリミキが主催する「パリミキフェア2026 in 川越」に、パリミキアセットもパリミキグループ会社の1社として出展いたします。現地では、資産運用ブースにてファンドのご説明や、運用に関するご相談などを、弊社担当者が承ります。

会場には、弊社のブースのほか、パリミキグループ会社の商品として、逸品のメガネフレームや高性能累進レンズをはじめ、新作のジュエリーや限定アイテムなども多数展示しております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 日時

2月17日（火） 10：00～20：00

2月18日（水） 10：00～19：00

### 会場

会場：川越プリンスホテル（3階 ダイヤモンドの間）

住所：埼玉県川越市新富町1-22

（西武新宿線「本川越駅」蔵のまち口（東口）直結）

（JR線、東武東上線「川越駅」東口 徒歩10分

（東武東上線「川越市駅」改札口 徒歩5分）

参加費：無料



## 〈AI時代の生き方・育て方〉

弊社親会社のパリミキホールディングス会長であり、弊社の元社長でもある多根幹雄が登壇し、脳科学者の茂木健一郎氏、田森佳秀氏と「AI時代の生き方・育て方」をテーマに徹底討論いたします。

投資においてもAIは主要テーマではありますが、今後の人生という観点でもAIについて考えることは、人生を豊かにする上で重要な要素になってきたと感じます。あいのり仲間の皆様におかれましては、「今後の投資」という観点でも、「人生を豊かにする」という観点でもお役に立てるのではないかと考え、お誘いしております。

直前のご案内で誠に申し訳ございませんが、お時間ございましたらご参加いただければ幸いです。

### 日時

2月22日（日） 13：00～15：00

### 会場

会場：野村コンファレンスプラザ日本橋 6階 大ホール

住所：中央区日本橋室町2丁目4-3

（東京メトロ『三越前駅』A9出口徒歩1分）

（JR『新日本橋駅』地下道 徒歩3分）

参加費：1,000円（会場にて現金支払）

人間とAIが交わる時代を  
生き抜く子供たち  
創造性はどうか育まれるのか  
いま最も知りたいテーマを  
各分野のトップランナーが徹底討論

子ども×自然×AI×脳科学

**AI時代の  
生き方・育て方**

2026年2月22日（SUN）  
13:00-15:00

野村コンファレンスプラザ日本橋 6階大ホール  
東京メトロ『三越前駅』A9出口徒歩1分  
JR『新日本橋駅』地下道 徒歩3分

田森佳秀  
脳科学者  
フリースクール講師  
NCL理事

茂木健一郎  
脳科学者

多根幹雄  
パリミキホールディングス  
代表取締役会長  
たねころ山農園オーナー

イベント・セミナーのお申込みにつきましては、HPでご案内いたしております

## 確定申告についてのご案内

今年も確定申告の時期がやってきました。

昨年、弊社のファンドをご解約（ご換金）されたお客様は、下記の表をご確認ください。

お取引口座	利益が発生したお客様	損失が発生したお客様
特定口座※ (源泉徴収あり)	原則、確定申告は <b>不要</b> です。 ただし、他の株式や投資信託の損失と損益通算される方は <b>必要</b> です。	下記の手続きをされる方は、確定申告が <b>必要</b> です。  ・他の株式や投資信託の売却益、配当、分配金と損益通算される方 ・損失を翌年に繰り越しされる方
特定口座※ (源泉徴収なし)	確定申告が <b>必要</b> です。	
一般口座	確定申告が <b>必要</b> です。	
NISA口座	非課税のため、確定申告は <b>不要</b> です。	確定申告は <b>不要</b> です。 ・損失が発生した場合、他の株式や投資信託の売却益、配当、分配金との損益通算はできません。 ・損失を翌年に繰り越すことはできません。

※特定口座でご解約（ご換金）されたお客様は、「特定口座年間取引報告書」を1月上旬に交付しました。

マイページをご登録済みのお客様にはマイページ上での交付のみとなっております。郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

なお、税制改正に伴い、2019年4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が不要となりました。

\* 申告期間は、2026年2月16日（月）～2026年3月16日（月）です。（2026年2月6日時点 国税庁ホームページ確認）

\* 詳しくは、国税庁、e-taxのホームページをご覧ください。最寄りの税務署までお問い合わせください。

### ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

### 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

### 毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**2026年3月5日（木）**です。

2026年3月分金額変更・中止・再開締切日…

**2月19日（木）**

2026年4月分新規・口座変更締切日…

**3月3日（火）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

株式会社パリミキアセットマネジメント  
 お客様サポートチーム  
 （受付時間：平日9:00～17:00）  
 お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968  
 E-mail: [support@pmam.co.jp](mailto:support@pmam.co.jp)



# PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT